# 小川防災工業 企業ブロック 初優勝

## 全十勝室内サッカー 一般AはFC甲山

第74回全十勝室内サッカー大会（十勝地区サッカー協会主催）が11月28日、帯広市総合体育館で行われた。4部門に51チームが出場。企業ブロック決勝は、小川防災工業がリブラスを2―0で下し初優勝を果たした。一般Aブロック決勝はFC甲山が3―1でENPERASSAを破り初制覇。一般Bブロック決勝はFC道勝がPK戦の末にMASHを破り優勝。シニアブロック決勝はチームチェリーナイツが1―0でI・A・Sを破り頂点に立った。（高橋宏幸）

【企業ブロック決勝・小川防災工業―リブラス】小川防災工業の㊼末永克哉が左足を思い切り振り抜き先制点を挙げる

### 気持ちを一つに 昨年の雪辱果たす 小川防災工業

○…昨年と同一カードとなった企業ブロック決勝は、小川防災工業が2―0でリブラスに完封勝ち。雪辱を果たし初優勝を飾った。

予選リーグはスタートで2連敗とつまづいた。敗退の危機に立たされたが、「崖っぷちになったことで逆にみんなが一つになれた」（小川泰宏監督）と勝ちたい気持ちがプレーに表れるようになり、残り2試合を連勝して持ち直しグループ3位で予選通過。5人の女性陣が守備の局面で精力的にボールを追い駆けるなど、試合を重ねるごとに成長したことも大きかった。小川監督は一丸でつかんだ勝利を喜びながら、「楽しくやることを原点に、また優勝できるように練習を頑張りたい」と意欲を新たにしていた。

### 2度目の挑戦 大きく躍進 FC甲山

○…一般Aブロック決勝は2度目の出場となるFC甲山が3―1でENPERASSAに快勝し初優勝。前回出場した一昨年は予選リーグ3戦全敗で敗退したチームが大きな躍進を遂げた。小林敦司代表は「みんな集中力を切らないでやってくれた」と選手全員の健闘をたたえた。

決勝は大谷将一と本間雄之のゴールで序盤に2点のリードを奪取。その後反撃を許し一時は1点差に詰め寄られたものの、GK方川将行が好セーブを連発しリードを守ると、終盤に大谷が再び得点し試合を決めた。

今季は『楽しくやるために勝つ』というテーマの下、チーム全員の気持ちが一つにまとまった。チームはオールとちフットサルリーグ2ndステージにも参戦しており、小林代表は「やれるところまでやりたい。リーグ優勝を目指す」と意気込んでいた。

【一般Aブロック決勝・FC甲山―ENPERASSA】2ゴールを挙げ勝利を引き寄せたFC甲山の㊳大谷将一

企業ブロック優勝の小川防災工業

一般Aブロック優勝のFC甲山

### 気持ちで勝った 一般Bブロック優勝のFC道勝・香田祐主将の話

チーム練習は3回だけで、作ったばかりのチームで初めはできてなかった。普段からやっているメンバーなので意思の疎通やチームワークは問題なく、得点を先に取って守り切れない部分もあったが、試合を重ねるごとにチームワークが良くなり、気持ちで勝った。準決勝のPK戦でGK中川廉の顔面セーブで勝利し、チームが勢いに乗れた。これからもこのチームで頑張ってやっていきたい。

### 連覇したい シニアブロック優勝のチームチェリーナイツ・成田慎一郎監督の話

TFCかちまい木野のメンバーで、チェリーナイツとMrオーヤンズの2つのチームに分けて出場。できれば身内同士で決勝をやりたかった。普段からやっているメンバーなので意思の疎通やチームワークは問題なく、得点を先に取って守り切れた。来年は連覇に向けて頑張りたい。

一般Bブロック優勝のFC道勝

シニアブロック優勝のチームチェリーナイツ

＜一般Aブロック▽◇決勝トーナメント▽1回戦＞
ENPERASSA 4―0 FC URAHORO
ワタナベイレブン 2―0 AWTUM OFC
FC甲山 1―0 FCびざんA
デザフィーオ'K 2―1 帯広大谷短大
FC甲山 2―1 ワタナベイレブン
デザフィーオ'K
▽決勝
FC甲山 3―1 ENPERASSA
＜一般Bブロック▽◇決勝トーナメント▽1回戦＞
FC道勝 4―0 Fantasista
Special☆Guest 2―1 肉屋五日市
▽準決勝
FC道勝 0―0 ジュニオールフットサルFC（PK1―0）Special☆Guest
MASH 1―0 FC道勝 1―1 MASH（PK1―0）
▽決勝
＜シニアブロック▽◇決勝トーナメント▽1回戦＞
I・A・S 1―0 JAM（PK1―0）
TAKEO 0―0 深瀬宏記（PK1―0）
▽準決勝
チームチェリーナイツ 2―1 TAKEO
I・A・S 0―0 Mrオーヤンズ（PK3―2）
▽決勝
チームチェリーナイツ 1―0 I・A・S
＜企業ブロック▽◇決勝トーナメント▽1回戦＞
小川防災工業 1―0 飲み食い処さぶ
リブラス 2―0 SANIS
▽準決勝
小川防災工業 2―2 竹田電気（PK1―0）リブラス
▽決勝
小川防災工業 3―1 OBS
リブラス 2―0 リブラス

### 社会人アイスホッケー 清水町リーグ

（11月27、28日・清水町アイスアリーナ）

◇A級
清水町商工会青年部 9（3―0、1―3、5―0）3 芽室町役場
▽得点者【清】大澤4、村井2、山本崇、玉川、古川【芽】松田、富瀬、穴吹
▽アシスト【清】片川2、福田2、村井2、奥山、大澤、土橋、山本彩、玉川【芽】柴田、手島、松田
▽反則【清】3【芽】1
▽シュート数【清】24（7、8、9）【芽】25（8、10、7）
▽審判＝会岡、山本俊、山本高
◇B級
旭山クラブA 7（2―1、1―1、4―3）5 清水町役場
▽得点者【旭】花田3、佐々木2、室崎、井川【清】田村、村谷、水津要、中島、水津栄
▽アシスト【旭】花田2、西井、佐々木、井川【清】中島3、下保2、田村
▽反則【旭】1【清】0
▽シュート数【旭】43（15、11、17）【清】28（8、10、10）
▽審判＝光井、藤谷、寺山
御影大貫寺BOS E 10（2―1、4―0、4―1）2 新得ダックス
▽得点者【御】高木4、工藤3、宮崎2、頓宮【新】長屋、峯田
▽アシスト【御】工藤3、高木2、町田、大久津、宮崎【新】山田2、木縄、清野
▽反則【御】0【新】0
▽シュート数【御】46（15、15、16）【新】37（9、14、14）
▽審判＝平岡、藤谷、寺山

# 福島、恵庭に凱旋

## アジア2冠「自信に」

集まった学生らにあいさつする福島千里選手

【恵庭】中国・広州で開かれたアジア競技大会の陸上女子100㍍と200㍍で2冠、400㍍リレーでも銅メダルを獲得した福島千里選手（北海道ハイテクAC―帯南商高出）が11月30日、母校で勤務先の北海道ハイテクノロジー専門学校（恵庭市）に凱旋（がいせん）した。福島選手は「2冠を取れたことは、これから世界で戦う上での自信にしたい。地元で活動でき、応援を間近に聞けるのは幸せなこと。感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたい」と語った。

福島選手は学生や市民、報道陣ら約150人が待ち構える中、午後4時40分ごろ同校に到着。原田裕恵庭市長らから花束を受け取り、「応援ありがとうございました。来年の世界陸上、2年後のロンドン五輪とつなげられるよう、また頑張ります」と笑顔であいさつした。

続く記者会見で、中村宏之監督は大会直前に足首をひねり、十分な練習が積めなかった事情を打ち明け、「そういう状況下でも弱音を吐かず、100㍍では今までのスタートから先行する形ではなく、後半に追い上げて勝てたのは収穫になった。自分の置かれている立場を冷静に見極め、期待通りに勝てたことも大きな進歩」と評価。福島選手は今シーズンを振り返り、「年々自己タイムが上がり、一歩ずつ成長できていることを感じている。来年、再来年もこの調子でいきたい」と意欲を燃やした。

（山下聡実）

# 「競技力向上目指す」

## 日韓スケート交流大会結団式

日韓交歓交流競技大会に臨む帯広選手団

4、5日に明治北海道十勝オーバルで開催されるスピードスケートの2011日韓交歓交流競技大会（実行委員会主催）に出場する帯広選手団の結団式が11月30日午後6時から、同オーバル2階研修室で行われた。選手20人と役員らが出席して士気を高めた。

同大会は帯広と韓国のジュニア選手がスピードスケートを通じて交流を深める目的で開催。昨年に続いて帯広に韓国選手団を迎える。第55回全十勝高校選手権と併催で行われ、白樺学園高、帯南商高、帯農高、帯三条高から選手が出場する。

団長を務める細川吉博帯広スケート連盟会長が「記録を伸ばすだけでなく、帯広の代表として交流し国際人としても一流になってほしい」とあいさつ。選手を代表して男子主将の小川新太（白樺学園高3年）が「韓国選手との交流の中でお互いの力をぶつけ合い、競技力向上を目指します」と宣誓した。女子主将は川口愛莉（帯南商高3年）が務める。

韓国からは選手12人と役員3人が来帯予定。最終日の5日午後7時からは帯広東急イン で歓迎レセプションを開く。（古川雄介）

＜帯広選手団＞
◇役員▽団長＝細川吉博（帯広スケート連盟会長）▽副団長＝田中義博（同副会長）▽総監督＝佐々木通喜（同副理事長）▽総務責任者＝杉田吉弘（同事務局長）▽女子監督＝東出俊一（帯南商高監督）▽男子監督＝遠藤倫哉（白樺学園高監督）▽男子コーチ＝坂東成（帯広スケート連盟）▽女子コーチ＝櫻井知克士（同スピード副部長）
◇選手
【男子】▽スプリント＝田渕浩基、三輪準也、長谷川翼、荻野達哉（以上白樺学園高）後藤卓也（帯農高）▽総合＝小川新太、小坂龍、池田崇将（以上白樺学園高）、磯賢汰（帯農高）、下坂和彦（帯三条高）
【女子】▽スプリント＝永田希絵、関口利菜（以上帯南商高）、阿部美沙希、辻本有沙、桜井萌美（以上白樺学園高）▽総合＝高木菜那、川口愛莉、入谷垣彩香（以上帯南商高）、高橋菜那、米田光希（以上白樺学園高）

選手宣誓する男子主将の小川新太（白樺学園高）

# 春高バレー道予選あす開幕

春の高校バレー第63回全日本バレーボール高校選手権大会北海道代表決定戦（道バレーボール協会、道高体連など主催）が2～5日、札幌市の道立総合体育センターと江別市の道立野幌総合運動公園体育館で行われる。来年1月5～9日に東京体育館で行われる全国大会を目指し、道内の男子42校、女子56校が男女各2の全国出場権を懸けて熱戦を繰り広げる。

春の高校バレーは今年度から高校世代の最高位の選手権へ切り替わり、3年生も出場可能になり、開催時期も例年の3月から1月に移行した。

十勝勢は女子が昨年度の道代表で、今年の全道高体連覇者の帯南商と、十勝地区予選を勝ち抜いた帯三条、江陵、白樺学園の4校、男子は白樺学園、帯工が出場する。

2日午前10時半に開会式を行い、同日正午から競技開始。2、3日は道立総合体育センターで、4、5日は道立野幌総合運動公園体育館で競技を実施する。（高橋宏幸）

**女子**

帯南商
札幌北斗
深川西
網走南丘
苫小牧東
旭川商
岩見沢東
登別大谷
国際情報
静内
野幌
士別翔雲
函館商
別海
白樺学園
旭川大
札幌月寒
檜山北
天塩
恵庭南
札幌旭丘
北見緑陵
釧路明輝
倶知安
留萌
紋別
芦別
札山の手
札幌藻岩

旭川実
小樽商
北海道栄
遠軽
啓北商
岩見沢西
釧路江南
帯三条
千歳
岩内
函館大妻
美唄聖華
東海大四
大麻
中標津
札幌篠路
市立函館
稚内大谷
富良緑峰
江陵
札幌藻岩
旭川南商
下川商
滝川西
えりも
虻田
北見柏陽
札幌大谷

**男子**

とわの森
静内
北海
函大有斗
北見緑陵
富良緑峰
滝川西
旭川工
尚志学園
別海
緑丘室栄
啓北商
釧路湖陵
苫小牧工
恵庭南
帯工
名寄
斜里
豊富
岩見沢東
札幌第一

東海大四
紋別
深川西
大麻
岩緑陵
伊達室清
札幌月寒
札幌西
苫高専
函館工
倶知安
札幌工
白樺学園
江別
札幌南
小樽潮陵
旭川北
釧路工
北広島
函ラ・サール
札幌藻岩